

## ヴオジミエジュ・クヴィエチンスキ、九段

2025年大阪・関西万博でのウッチ県週間の大使

世界伝統空手連盟の会長

ポーランド伝統空手連盟の名誉会長

ポーランドでの伝統空手の先駆者

天皇より旭日小綬章を授与された



ヴオジミエジュ・クヴィエチンスキは日本の哲学である武道の観念と空手を学ぶことに関連する価値観の普及に生涯を捧げています。それは40年以上にわたって継続的に続いています。彼は範士九段を持っています。彼は大師範西山英峻先生の下で20年間空手を学び、西山先生が開いた道を歩み続けています。

彼は先駆者であり、現在では次世代が従っている道を切り開きました。彼は、人生のバランスを見つけるために必要な価値観である謙虚さ、人々への敬意、自分自身への挑戦、自己規律そして勤勉さを含んでいる武道哲学の豊かさを高く評価しています。彼自身が言うように、武道の道を歩むと我々は内なる強さを持って歩み、そして我々の強さは我々自身なのです。

彼は先見の明のある方です。スタラ・ヴィエシ道場は彼の夢から生まれ、今では人々の観念の力を真に証明しています。彼は、他の偉大な方々と共に、世界最大の日本武道センターである場所を設立しました。それは暖かくて開放的な場所です。特別な場所です。人生のバランスを求め、卓越した普遍的な人間の価値観を普及している方のための港です。彼は29年間ポーランド伝統空手協会の会長を務めました。2018年まで、彼はポーランド代表チームのヘッドコーチを務め、その成功の共同創造者でした。

彼はポーランド大統領により金と銀の功績十字章を授与されました。

2012年、彼は世界中で伝統空手の発展と普及への貢献により、天皇から名誉な勲章である旭日小綬章（明治天皇によって創設された日本最古の勲章）を授与されました。